

おりたて 下立ものしりマップ



おらはうす宇奈月

至北陸自動車道 黒部I.C.
特別養護老人ホーム

道の駅うなづき

宇奈月麦酒館
黒部の名水と地元の二条麦を使ったモルト100%の宇奈月地ビールが大好評です。ビールと食事が楽しめます。

うなづき友学館
愛本別橋の復元模型が見られます。お光伝説にまつわる愛本姫社の御神体、池田英泉(深斎英泉)作の「花魁」の版画とゴッホの「花魁」との比較など、ユニークな展示もあります。

水神碑
昭和7年、合口用水の水路の壁が抜けて人家に被害を及ぼすことのないようにと願いを込めて建立されました。

大正4年、段丘崖を利用して発電と灌漑に利用しようと建設されました。

黒部川神社

愛本堰堤が昭和9年の洪水に耐えたのは神の力の賜であるということで、黒部川神社が建てられました。社は右岸に、鳥居は黒部川をはさんで左岸にあります。



瀨三樹三郎の詩碑
嘉永元年(1848)江戸から富山への旅の途中、愛本橋で黒部川の激流と別橋の壮観を賞し作詩したものです。

愛本姫社

お光伝説はうら面に記載。



ウラジロガシ林
県指定天然記念物。

ずんずん様

苗の痛い時は、ずんずん様にお参りすればすぐに願いをかなえて下さり、治ると首から言い伝えられています。御神体は樺の一種で白クモの木です。

下立神社
明治44年に、村内集落の神社を合祀し下立神社になりました。また、10月に行われる祭りに、伝統の獅子舞が奉納されます。

福井重成銅像
明治22年、初代下立村長に選ばれ、農業、学校の開設、植林や福祉関係など、住民のために尽くされ、銅像は下立神社に、顕彰碑は柏塚に建てられています。

左義長「おんづろ こんづろ」
毎年1月の第3土曜日に、江戸時代から続く、高さ約6mの左義長「おんづろ こんづろ」が行われます。地元住民や児童らが書き初めや正月飾りを燃やし、今年の無病息災と五穀豊穡(ほうじょう)などを祈るものです。「おんづろ、こんづろ」は、書き初めが燃え、舞い上がる様子を大ツル、小ツルに例え、それがなまったことが由来とされています。

全龍寺
天文21年(1552)魚津の常泉寺三世松室文寿により開山。曹洞宗の名刹です。天井絵の三十六歌仙は江戸時代に描かれたものです。

鐘楼堂
鐘楼堂は大正2年に建立されました。しかし太平洋戦争のため昭和17年、梵鐘は供出されましたが、昭和23年に寄進され、現在二階より鐘の響きを伝えています。

金刀毘羅社
寛永3年(1626)黒部川本流に打渡橋を架設した際、街道の安全を祈願して建てられたといわれています。

金刀毘羅社
森林浴の森

下立霊水
古道入口にある湧き水で「富山の名水」に選ばれています。

御滝権現様
社殿のうしろに滝があり、その間にある大杉が御神木で、歯や火伏せの神様です。

下立大理石
オニックス・マーブルという大理石で、国会議事堂建設の際、全国から石が集められ、下立からもこの大理石が選ばれました。

立岩大理石採掘場跡

中世の山街道
嘉例沢を経て魚津方面へ行ける古道です。



▲中央の木立が下立神社で、その奥が全龍寺です。